

case

## 行政事務

観光交流局  
観光交流課

私は

福島の桃

が好き!

わたしを表すキーワード

keyword 01

5

#留学・国際経験

学部時代にイギリスへの留学を経験、院では英語で研究に取り組みました。将来的には、こうした経験を生かせる事業に携わりたいと考えています。

keyword 02

#日本酒勉強中

県の魅力を発信する観光交流課の職員として、自ら体感し、知識を深めることは重要なことだと感じ、最近では日本酒を好んで飲んでいます。

keyword 03

#バス助成

keyword 04

#浜通り出張

keyword 05

#英国ロック (音楽)



## 復興への光となる県内観光の推進

観光交流課では、本県の観光振興に向けて、国内外からの観光誘客促進に取り組んでいます。その中で、私は主に教育旅行の担当の一人として、学校へのバス経費助成事業（バス助成）や、合宿の受入体制強化事業等に携わっています。1年目から大きな事業を持つことには責任が伴いますが、震災・原発事故及びコロナで大打撃を受けた本県の観光振興の一端を担えていることにやりがいを感じています。

## 県職員を目指した理由

私が県職員を志望した理由は、生まれ育った福島県の魅力や復興への取組を世界に知ってもらうことで、海外での風評払拭に寄与したいと考えたからです。多種多様な分野でこうした事業に携われる機会があるのが、県職員として働く魅力の一つだと考えます。



↑観光マップ製作について打合せ

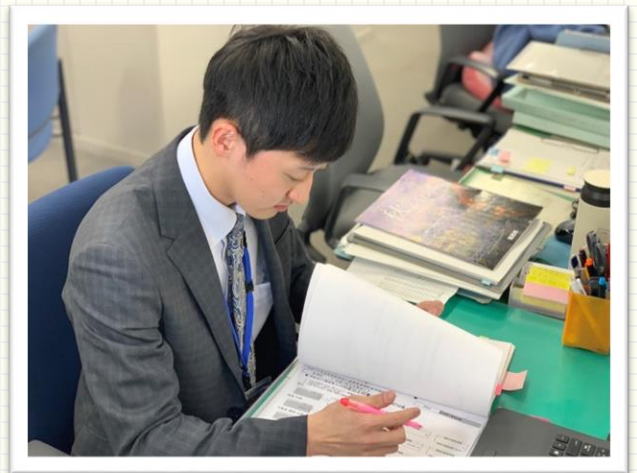
## とある一日のスケジュール

8:30	メールチェック	13:00	観光マップ製作について 打ち合わせ
9:00	庶務作業	14:30	資料作成
10:00	資料作成	16:00	バス助成審査業務
12:00	昼休み	17:15	終業

## 私の仕事の覚え方

業務の中で分からないことがあった場合は周りの先輩方に相談したり、また先輩方の普段の仕事へ向き合う姿を見て「こういう時はどのように動けばよいのか」を学んだりしています。さらに、日頃の失敗から学ぶことも多いと感じます。

失敗の原因と次にどう生かすかを考え、一度した間違いをできるだけ繰り返さないよう心がけています。



## 福島県職員として、実現したいこと・目標としていること



↑モニターツアー参加者との意見交換！

私の目標は、あらゆる人から信頼される自立した職員になることです。震災・原発事故からの復興への諸課題の解決のためには、県民や事業者の方々との信頼関係だけでなく、周りの職員とのチームワークが欠かせません。その実現のために、常に周りから学ぶ姿勢を持ち続け、現場の声に耳を傾けながら、目の前の業務に対して誠実に取り組んでいきたいと考えています。

(令和5年3月時点)